

RADEN Ver 5 新機能紹介

- ◆ プレーヤー新機能紹介
- ◆ クライアントマネージャー新機能紹介
- ◆ デザイナー機能追加
- ◆ 開発・運用支援ツール

RADEN Ver5の主な新機能

- ▶ プレーヤー操作性の向上
- ▶ システム運用の操作性向上
- ▶ RADENアプリケーションのマルチバージョンの動作環境を実現
- ▶ RADENアプリケーションの多重起動を実現
- ▶ マルチデバイス環境を実現
- ▶ Web環境での利用を実現

プレーヤー操作性の向上

- ▶ クライアントマネージャーの配信サーバーやグループ別にアプリケーションを表示しアプリケーションの使い分けができます
- ▶ ユーザーカスタマイズでお気に入り設定が可能です
- ▶ 環境設定で端末固有の設定が可能です（既存機能）
- ▶ ログ表示と出力ができます（既存機能）

プレーヤー画面説明

サービス名

(クライアントマネージャーサーバー)

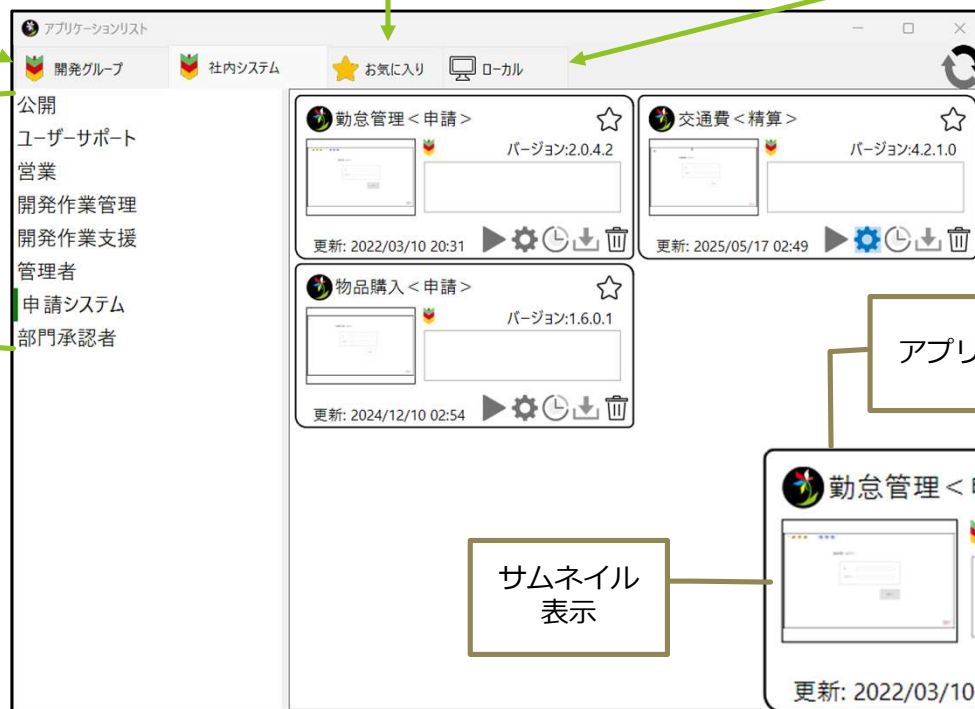
お気に入り

よく使うアプリケーションを選択表示する

ローカル

PCに直接登録したアプリケーション

グループ名



サムネイル表示

アプリ名称

アプリ概要表示

お気に入り登録

アプリ削除

ダウンロード

アプリ起動

環境設定

ログ表示

システム運用の操作性向上

- ▶ 複数のクライアントマネージャー・サーバーに対してアクセスできます。社内システムや開発環境・テスト環境など混在して利用できます
- ▶ 配信対象はRADENアプリケーションに限らず、プログラムやデータも配信可能です

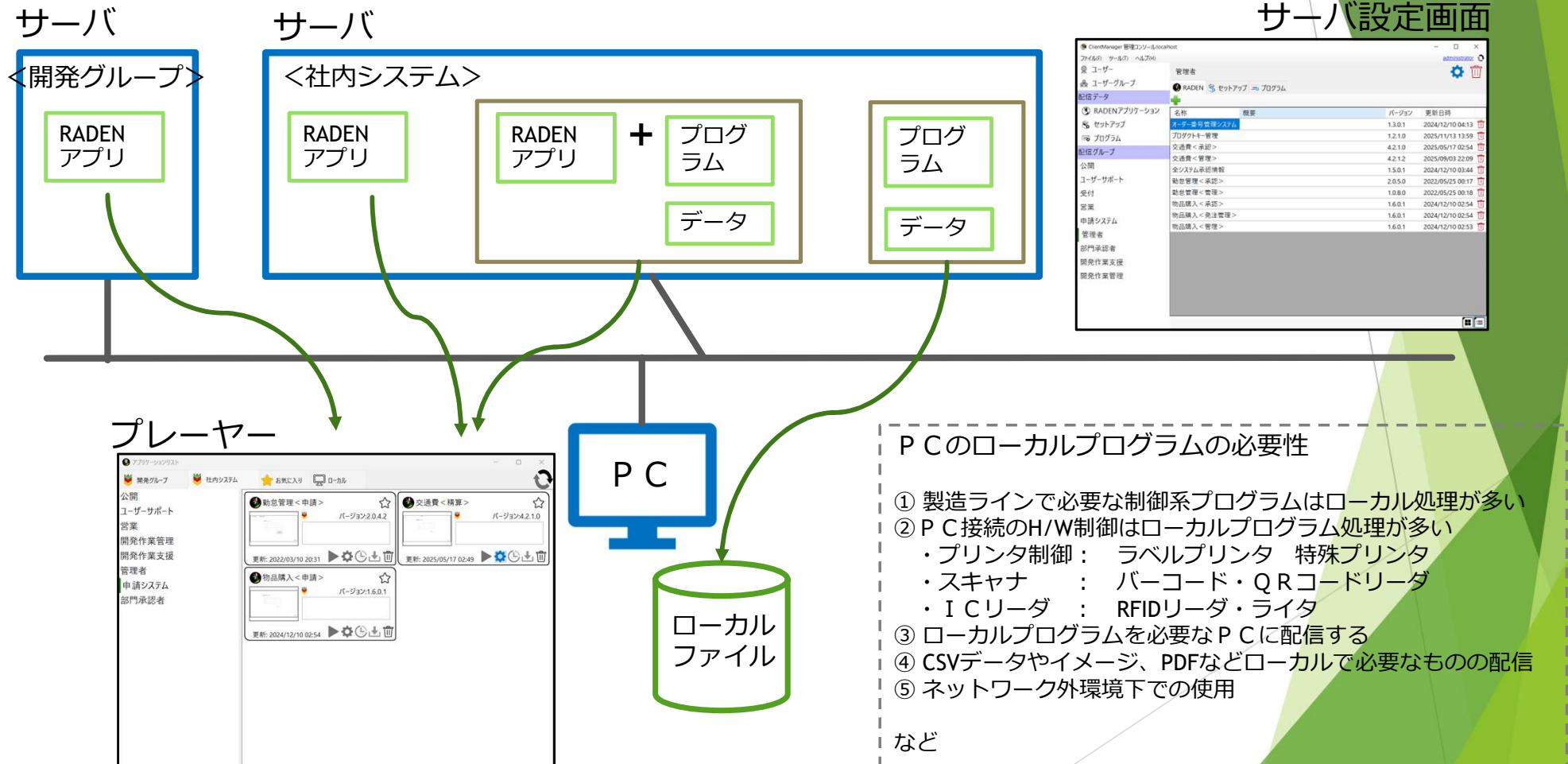


- ▶ 業務で利用する各種システム環境をクライアントマネージャーの配信機能を使用してユーザー環境を管理できます

クライアントマネージャーの主な機能

- ▶ 複数のクライアントマネージャー・サーバー接続
- ▶ 配信対象は
 - ①RADENアプリケーション
 - ②セットアップ（自動実行の設定可能）
 - ③プログラム&データ（自動実行の設定可能）
- ▶ 配信グループの設定
- ▶ 配信日時、使用期間の設定

クライアントマネージャーを使用したシステム運用例

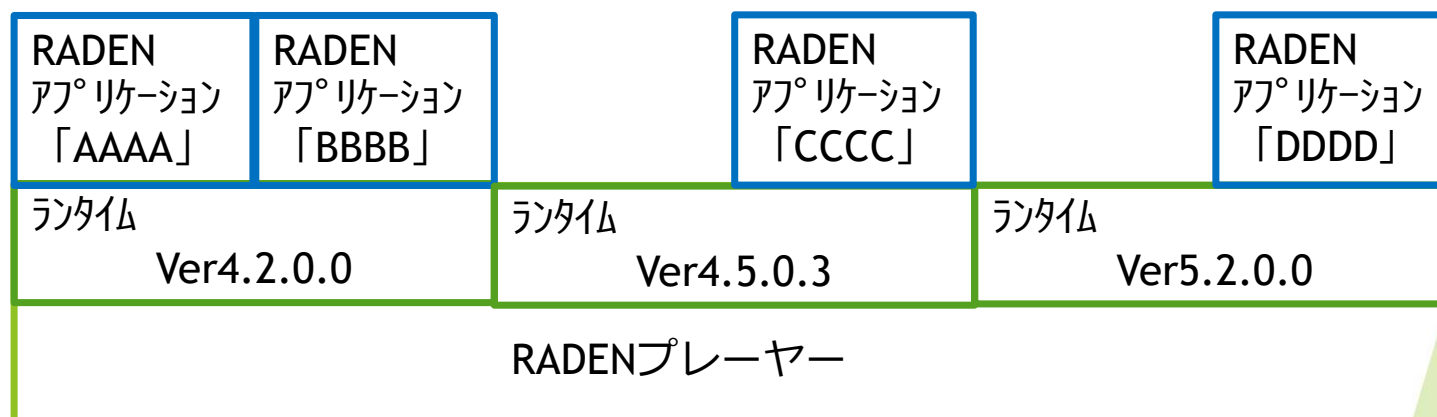


RADENアプリケーションの マルチバージョンの動作環境の提供

- ▶ RADENアプリケーション開発時の実行環境（ランタイム）を指定して動作できます
※Ver5は、gdd作成時のデザイナーVerに固定されます
設定はVer 4 の救済措置として行う機能
- ▶ 従って、RADENアプリケーション製作時の動作を保証できます
- ▶ Ver4、Ver5のそれぞれで製作したアプリケーションを混在して運用可能としました

複数の実行環境（ランタイム）でアプリケーションを実行する

プレーヤーに複数のランタイムを保持しています。RADENアプリケーションは実行時に指定したランタイム環境で動作します



※ランタイムの指定はクライアントマネージャーの環境下で指定します
ローカル設定の場合は指定できません。最新のランタイムで動作します

RADENアプリケーションの多重起動を実現

- ▶ 多重起動には、同名の多重起動と別名登録した方式があります
- ▶ 同名の多重起動
 - ① 同じプログラムを起動し別々の表示内容をマルチモニタで表現する電子アンドンなどに利用できます
 - ② 業務アプリケーションで検索情報を参照しながら入力・登録業務を行うときに利用できます
- ▶ 別名の多重起動
 - ① 動作環境ファイルを変えて動作させることができます
 - ② ローカルデータを独立させて記録して使用できます

※別名登録はクライアントでのみ設定可能

アプリケーションを多重実行する

デザイナーで多重起動可能と設定した場合、次のモードで利用できます

(1) 同名で起動

「DDDD」と「DDDD」を同時に起動することが可能です

内部データは初期値をロードし終了時には内容を登録できません

(2) 別名登録で起動

「EEEE」と「EEEE2」を同時に起動することが可能です

独立して起動することから、内部データはそれぞれに登録することが可能です

RADEN アプリケーション 「DDDD」	RADEN アプリケーション 「DDDD」		RADEN アプリケーション 「EEEE」	RADEN アプリケーション 「EEEE2」
ランタイム Ver5.1.0.0		ランタイム Ver4.1.0.3	ランタイム Ver5.2.0.0	
RADENプレーヤー				

※多重起動する場合、内部データはクリアされ新規に立ち上がります

※多重起動時は同時に同じデータベースなどを扱うことになるので操作ミスに注意が必要です

マルチデバイス環境を実現

- ▶ アプリケーション仮想化技術を利用してマルチデバイスの動作環境を実現しました
 - ▶ 基本技術はMicrosoftが提供するリモートデスクトップサービス（RDS）を使用します（リモートアップ機能を利用する）
 - ▶ リモートアップは、各種端末専用のアプリケーションをインストールして使用します
 - ▶ 対象端末
iPad、iPhone、Android端末
 - ▶ 操作性は、Windows端末と同等です
- ※プリンタや接続機器の制御で不具合等が考えられます。実証確認が必要となります

Web環境での利用を実現

- ▶ アプリケーション仮想化技術を利用してWebブラウザの動作環境を実現しました
- ▶ 基本技術はMicrosoftが提供するリモートデスクトップサービス（RDS）を使用します（リモートウェブ機能を利用する）

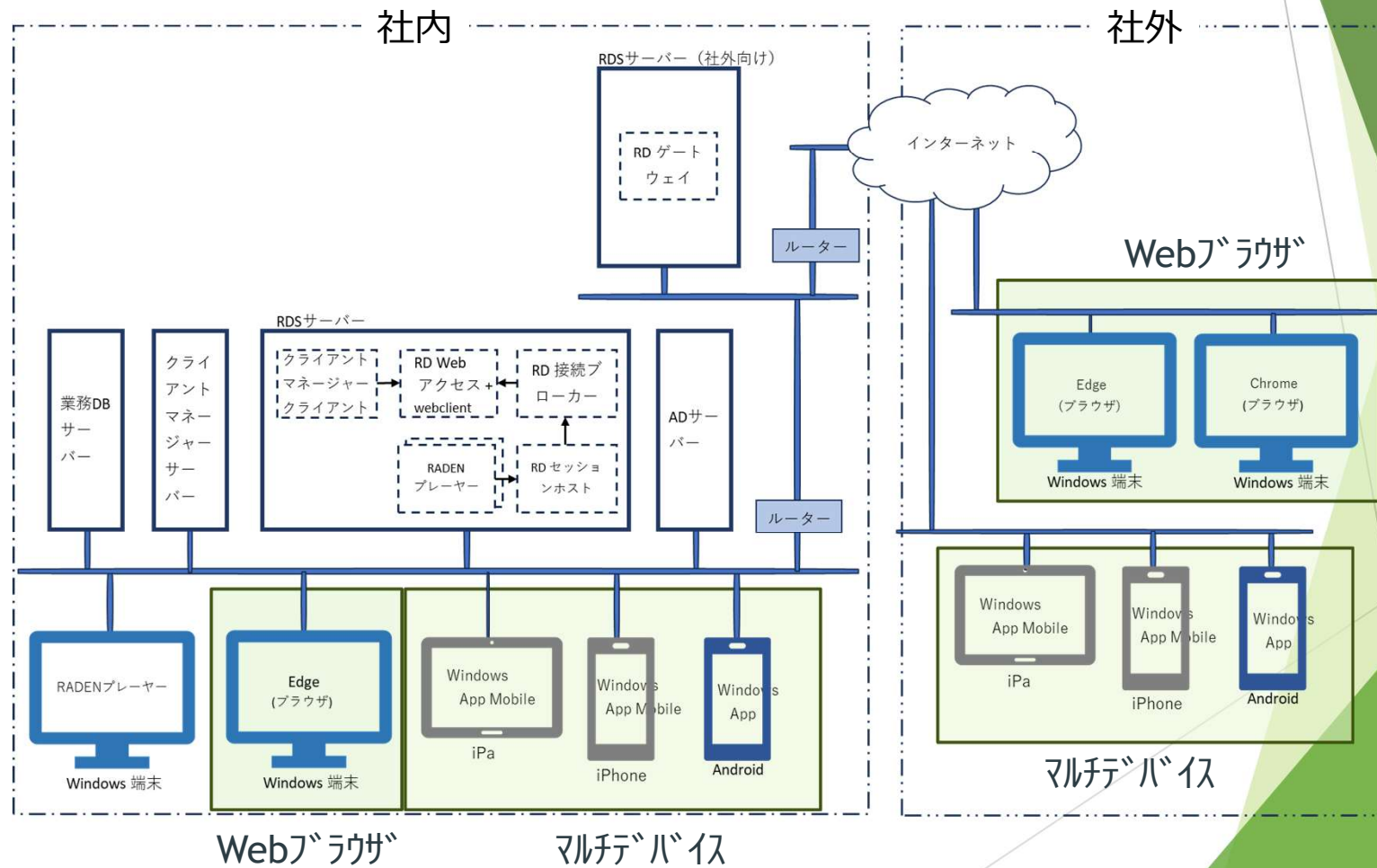
- ▶ 対象端末とブラウザ

Windows端末（Edge、Chrome）が利用可能です

※Mac端末、iPad、iPhone、Android端末はマウス操作等で不具合があります

※端末固有の条件で動作できない機能が有ります

仮想化技術を利用したマルチデバイス・Web環境のシステム構成



デザイナー機能

- ▶ ワークフロープラグイン機能向上
- ▶ 大幅機能向上（Ver4の中間アップデート）
- ▶ V e r 5 機能追加（主なもの）
- ▶ 今後の大規模アップデート
 - （1）I o Tプラグインの機能向上
 - （2）タブレット端末用の機能向上

V e r 4 の大型アップデートと同様にV e r 5 においても継続的に機能アップしていきます。
ユーザーからの要望を聞きながらタイムリーに実施します。

ワークフロープラグイン機能向上

▶ マスタ情報の世代管理

組織・ルート設定を世代管理し期間設定した情報で申請・承認の流れを実現できます
組織変更やルート設定を事前に作成することで、変更作業の確認作業など時間的猶予を作ります

▶ 対応DBの拡張

SQLSever、Oracle、PstgresSQL、MySQLで環境構築可能です

▶ 操作性の向上

組織設定、ルート設定、及び、編集作業を視覚的に向上させ設定ミスを防ぎます

▶ アプリケーションの使用制限の制御

アプリケーションの起動制御（稼働・停止）を行い。システムメンテナンス時の運用をし易くしました

▶ 承認結果の戻り情報を制御

承認後の結果をルートに遡って結果確認できるようにしました

▶ グループ承認

複数人のグループを登録し、承認人数を設定することで承認者の複数化を実現しました
また、グループ承認機能を使用して回覧機能としても利用可能です

大幅機能向上（Ver4の中間アップデート）

▶ タイムチャート部品

工程表・スケジュール表・ガントチャートなどを表現する部品を提供しました

▶ ファイル制御

フォルダ・ファイルに対して名称変更・コピー・削除などをアクションから制御できます

▶ メール機能

指定したメールアドレスにアプリケーションから任意・自動に発信できます

▶ P D F 印刷

MicrosoftのP D F 印刷機能を利用した印刷の自動出力が出来ます

▶ スクリーンショット

画面表示状態をキャプチャし、直接印刷や帳票フォーマットに取込んで印刷できます

画面に出力した情報を帳票成形せず、ダイレクト印刷が可能です

デザイナー機能追加（主なもの）

- ▶ フォルダ内のファイル名取得・検索
ファイル読取り対象をアクション中で利用できます
- ▶ リストの列名称の変更機能
列名称が固定で有ったものをアクション設定で変更可能としました
- ▶ タイムチャート部品の列名称の変更機能
列名称が固定で有ったものをアクション設定で変更可能としました
- ▶ アプリケーションアイコン設定
アプリケーションのアイコンをユーザーにて変更できるようにしました

開発・運用支援ツール（１）

RADEN Ver 5は、アプリケーション開発の容易さだけでなくシステム開発を前提とした統合的な開発ツール・運用ツールを提供しています

▶ 開発支援ツール

（１）テスト管理システム

テスト項目やテスト手順などテスト要領を作成し、テストの実施結果を入力して品質確認を行うことができます

（２）課題管理システム

チームの課題を一元管理します。課題は担当者と期日を明確にして完了までをフォローできます

（３）RADENアプリケーション解析ツール（開発中）

アプリケーションを解析しデータの関連性やアクションの解析を行います

（４）開発支援ツール（開発中）

機能設計書、データテーブル設計書を作成し管理できます

開発・運用支援ツール（２）

▶ 運用支援ツール

（１）ワークフロー マスタ設定確認ツール

社員・組織・承認ルート設定の登録ミスを防ぐための支援ツールです
画面上チェック、机上チェックなど複数のチェック機能があります

（２）ワークフロー システム設定確認ツール

アプリケーション作成時にワークフロー定義のミスを防ぐ支援ツールです
ワークフローシステムに対する設定情報を定義し管理します

（３）トラブル対応用サポートシステム

システム障害時の対応履歴を登録・管理します
システムの改善や同一障害の対応履歴から迅速な対処が可能です